

令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

【危機管理学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和5年11月29日	参加した学生3名，教員2名（うち1名CHAmmit参加者），職員3名（うち1名CHAmmit参加者）の計8名にて，学部提案書についての意見交換会を1時間程度実施しました。 学部提案書および意見交換会の内容を踏まえて回答書を作成しました。

2 危機管理学部から学生へのメッセージ

<p>学生FDは，学部教育の改善を学生の視点から推進する貴重な機会と考えています。今年度の学生FD CHAmmitには，4年次生に参加していただきました。4年間の危機管理学部の学修を通して，授業や履修方法等，様々な課題をご指摘いただき，ありがとうございました。頂戴いたしました提案等を基に，より良いキャンパスとすべく教員・職員が知恵を出し合っておりまいます。また，このような取り組みの存在を周りの学生や後輩の皆さんにも広めていただき，さらに改善が進むことを期待しています。</p>
--

3 学部提案書の対応について

「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
「履修モデル」を達成するために，時間割モデルを提示することと，わかりやすい学部要覧を作成して欲しい。		○		令和4年度実施のカリキュラムの進行に合わせて，主専攻・副専攻の組み合わせを念頭に置いて，「履修モデル」を改訂すべく，検討を進めていきます。
資格取得のための講座等を開講して欲しい。			○	危機管理学部学生の進路の現況を鑑み，就職委員会に検討を依頼したいと思います。また，授業時間割の配置も資格講座との共存が図れるよう検討を進めていきます。
Wi-Fi環境を強化して，授業を受けやすくして欲しい。		○		Wi-Fiの接続環境がよくなるように対応しており，以前よりも繋がりがよくなったとの声を聞いています。 今後もみなさんがよりスムーズに授業を受けることができるように，対応を継続していきます。
「学びの手引き」や「学修の手引き」を作成し，履修登録をしやすくして欲しい。			○	上述の「履修モデル」の改訂作業と合わせて，領域ごとの学びとそれに連なるキャリア形成との関係等を示しながら学修の意味を示しつつ，卒業に必要な単位修得が有意義となるよう総合的に制度を整備していきます。

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており，今後の状況によって変更する可能性があります。